



rara-ca

Vol.02
2023 SUMMER
セントラル愛知交響楽団
特別情報誌

音合わせ心ひとつに「ら」でチューニング… Central Aichiの情報をお届け

小山実稚恵

やっぱり、ブラームス!

SPECIAL INTERVIEW MICHIE KOYAMA

7月の定期演奏会には名実ともに日本を代表するピアニストの小山実稚恵が登場!
角田鋼亮の指揮で若きブラームスの才気ほとばしるピアノ協奏曲第1番を演奏します。

(お誕生日でもある)5月3日にリリースされた33作目の最新アルバム「モノログ」拝聴しました。日常的に愛奏されている、19世紀末に製造されたスタインウェイピアノを使用してご自宅でレコーディングされたということで、とても親密な空気が醸し出されていて素敵でした!

85鍵しかないサイズも小さな楽器ですが、とても豊かな響きがします。繊細だけど力強さもあって、音に自分の想いが込めやすいんです。

ラフマニノフやメンデルスゾーンの作品も素晴らしかったけれど、個人的にはブラームスのワルツ第15番Op.39-15が聴けて嬉しかったです。Eテレの番組「2355」で「とびはぜ」トビーのテーマとして今、人気を呼んでいます。

やっぱりブラームスいいですよね。ドイツ音楽の歴史をロマン派において継承した「王道」の魅力に、あらためて夢中になっています。間奏曲とか美しくもう耐えられないくらい(笑)好き、最後の深みと何ともいえないやさしさがあって。今回、演奏されるピアノ協奏曲第1番も彼の初期を代表する名曲です。はじめに2台ピアノのためのソナタとして草稿が書かれ、交響曲としての構想が練られるけど断念して結局は協奏曲に落ち着いたという経緯や、恩師ブラームスへ追悼やその妻クララへの思慕など、若きブラームスのストレートな情熱あふれる傑作ですが、どちらかというと「通好み」なところもありますね。

そもそもなりそめが所謂コンチェルトとは違って、ピアノだけが耳に残るのではなく、独奏楽器とオーケストラとがシンフォニックに融合しようとする感じでものね、でもそこがクセになる。決してメロディを口ずさんだりはできないのだ

けれど、心の奥までズンと入ってくる。

第1楽章が重厚でシリアスにメランコリックなのに対して、第2楽章は折りに似た宗教的で静謐な雰囲気があり、第3楽章になるとピアノが華やかにリードするなど、楽章ごとに色が変わります。

第2楽章でもピアノを広く使っていて、特に後半の楽器との絡みは白眉です。第3楽章はベートーヴェンの「第3番」にも通じる作風で希望に満ちていて、極めてピアノ・コンチェルト的…あそこだけは歌えそう(笑)。

セントラル愛知交響楽団とは久しぶりの共演だそうですね。ラフマニノフとかも最高だったのでまた一緒にできるのが楽しみです。角田さんの指揮も凄くシャープ。音楽に切れ味のいい推進力を与えてくれるマエストロだと思います。

会場は2024年に閉館が決まっている、三井住友海上しらかわホールです。

とても良いホールなので心から残念に思います。第1楽章の迫力あるトリルなど、この作品にはもう少し広い場所が理想かもしれませんが、手加減できない曲ですので全力で弾きたいと思います…ご期待ください!

年間60回にも及ぶ公演をずっと精力的に続けておられますが、その原動力は?

自分の楽器をいつも持ち歩けるのと違って、短い時間で演奏会場のピアノと仲良くなるのはなかなか難しいことでもあるのですが、時に思いがけずその楽器が持つ力に助けられ、自分の能力以上のものを引き出してくれる瞬間があるのが喜びですね。

©Interview&Text / 東端哲也



©Hideki Otsuka

7/9日 セントラル愛知交響楽団 第198回 定期演奏会

■会場 / 三井住友海上しらかわホール ■開演 / 14:30
■料金(税込) / プラチナ¥6,000(完売) AY5,000 BY4,000
CY3,000 U25¥1,000

セントラル愛知交響楽団 公演情報 (チケット取扱い公演) 2023.07.09

7/2日 開演 14:00

はんだ夏の第九 2023

半田市福祉文化会館(雁宿ホール)大ホール
指定席¥3,000
自由席¥2,500
学生券¥1,500



◎出演 / 古谷誠一、東えり(S)、安永紀子(Ms)、永井秀司(T)、森寿美(Br) ◎曲目 / ベートーヴェン:交響曲第9番二短調Op.125「合唱付」

7/9日 開演 14:30

第198回定期演奏会 ~夏・夢~

三井住友海上しらかわホール
プラチナ ¥6,000(完売)
AY5,000
BY4,000
CY3,000
U25¥1,000



◎出演 / 角田鋼亮、小山実稚恵(Pf) ◎曲目 / ブラームス:ピアノ協奏曲第1番二短調Op.15(Pf)小山実稚恵、ドヴォルザーク:交響曲第6番二長調Op.60 他

7/16日 開演 14:00

第29回 岩倉定期演奏会

アデリア総合体育文化センター 多目的ホール
全自由席¥2,000



◎出演 / リカルド・A・ゴンザレス ◎曲目 / モーツァルト: 歌劇「魔笛」序曲 K.620、グリーグ:「ペールギュント」組曲より抜粋、ベートーヴェン:交響曲第5番「短調」Op.67「運命」

7/21日 開演 19:00

寺田弦楽四重奏団定期公演 vol.10

電気文化会館 ザ・コンサートホール
全自由席¥3,000
学生¥2,000



◎出演 / 寺田史人(Vn.)、神野玲子(Vn.)、依田郁子(Vla.)、石橋隆弘(Vc.) ◎曲目 / ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第8番 短調 Op.59-2「ラスモフスキー第2番」他

7/27日 開演 18:45

超!有名曲シリーズ Vol.4 「ドイツ」

愛知県芸術劇場 コンサートホール
SY5,000(Sペア¥7,000)
AY4,000(Aペア¥5,600)
BY3,000
CY2,000
U25¥1,000



◎出演 / 松尾葉子 ◎曲目 / ブラームス:大学祝典序曲、R.シュトラウス:歌劇「バラの騎士」より組曲、ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」

8/2日 開演 19:00

島田真千子プロデュース Central Aichi Chamber Players Vol.2

Halle Runde
全自由席 ¥4,000
U25 ¥2,000



◎出演 / 島田真千子(Vn.)、角田鋼亮(語) 他 ◎曲目 / ストラヴィンスキー:兵士の物語 他

8/29日 開演 18:45

コンチェルトシリーズ No.46 コンチェルトの夕べ

愛知県芸術劇場コンサートホール



指定席(1・2階)¥4,000 自由席(3階)¥3,000
◎出演 / リカルド・A・ゴンザレス、市川優月(Pf)、小柳さら(Pf)、エヴァ・ゲッセル(Pf) ◎曲目 / ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番「短調」Op.37、ラフマニノフ:ヴァグニエリ主題による狂詩曲 Op.43 他

9/10日 開演 14:00

オーケストラ・キャラバン 超!有名曲シリーズ in 四日市

四日市市文化会館1ホール
全自由席¥2,000
U25¥1,000



◎出演 / 角田鋼亮、辻彩奈(Vn.) ◎曲目 / ウェーバー:歌劇「魔弾の射手」より序曲、メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲、チャイコフスキー:「くるみ割り人形」組曲 他

9/15日 開演 18:45

第199回定期演奏会 ~秋・愛・哀~

三井住友海上しらかわホール
プラチナ¥6,000
AY5,000
BY4,000
CY3,000
U25¥1,000



◎出演 / 藤岡幸夫 ◎曲目 / ブラームス:大学祝典序曲「短調」Op.80、悲劇的序曲「二短調」Op.81、交響曲第3番「長調」Op.90 他

9/29日 開演 18:45

Wコンチェルト 2023 金子三勇士 Vol.2

愛知県芸術劇場 コンサートホール
SY5,000(Sペア¥7,000)
AY4,000(Aペア¥5,600)
BY3,000
CY2,000
U25¥1,000



◎出演 / 小松長生、金子三勇士(Pf) ◎曲目 / リスト:ピアノ協奏曲第2番、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」

PIC UP
01 超! 有名曲シリーズ Vol.4
「ドイツ」

7/27 ⑥ [開演18:45] 愛知県芸術劇場コンサートホール
S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 U25¥1,000

ロシア、フランス、イタリアと巡ってきた超! 有名曲シリーズは北に向かい、「ドイツ」を訪れます。ドイツは有名作曲家、有名曲が溢れていますが、今回のメインはベートーヴェンの「田園」。超有名でありながら意外に演奏されることが少ない曲です。ブラームス、R.シュトラウスの名曲とともに楽しみください。

指揮者 松尾葉子 SPECIAL MESSAGE



7月の超有名曲シリーズはドイツ編です。ベートーヴェンの交響曲「田園」は田舎のどかな風景、雷鳴とどろく夕立と雨上がりの日差しを感じる描写などが味わえます。私は雷が大嫌いなので、この表現には自信があります。ドイツ3大Bと言われるブラームスの「大学祝典序曲」、この曲は以前ラジオの旺文社受験講座のテーマ曲になっていました。懐かしい方もいらっしゃるのではないのでしょうか。リヒャルト・シュトラウスの「バラの騎士」組曲は作曲家独特の絢爛豪華な響きで満ち溢れています。重厚かつ煌びやかなオーケストラの響きをお楽しみください。

PIC UP
02 第199回定期演奏会
～秋・愛・哀～

9/15 ⑥ [開演18:45] 三井住友海上 しらかわホール
プラチナ¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 U25¥1,000

「ブラームス、ブラームス、ブラームス」をテーマに開催している2023年度の定期演奏会。今回は映画「さよならをもう一度(ブラームスはお好き)」で愛された交響曲第3番と2つの序曲をお届けします。イギリス音楽に定評のある藤岡幸夫によるヴォーン・ウィリアムズ作品も必聴です。

指揮者 藤岡幸夫 SPECIAL MESSAGE



ブラームスの交響曲第3番は不人気だと言われますが、私は彼の交響曲の中で一番好きです。ただ、とにかく難しい。旋律美に溢れた躍動的な格好いい曲ですが、第4楽章最後のF-Dur(ハ長調)のコードがぎっちりハマって如何に美しく静かに終わることが出来るか、賭けのようなところもあります。そして、賑やかな「大学祝典序曲」と悲壮感を湛えた「悲劇的序曲」という2つの序曲ともに、オスマンの作曲家の究極の1曲もお届けします。2017年の定期演奏会で、ヴォーン・ウィリアムズの交響曲第5番と「グリーンズリーブスによる幻想曲」を演奏したのですが、とても素敵な演奏でした。その時から次回は「タリス幻想曲」をやろうと思っていたのです。この曲が入ることで、変化に富んだ魅力的なプログラムになりました。

PIC UP
03 Wコンチェルト 2023 金子三勇士 Vol.2
9/29 ⑥ [開演18:45] 愛知県芸術劇場コンサートホール
S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 U25¥1,000

1人のソリストが2曲のコンチェルトを演奏する「Wコンチェルトシリーズ」。ソリストの華やかな技、オーケストラとの掛け合いと調和…「コンチェルト」の魅力余すところなくお聴きいただけるコンサート。昨年に続き、金子三勇士が登場!

金子三勇士 SPECIAL INTERVIEW MIYUJI KANEKO

MCをされているNHK-FMの「リサイタル・パッショ」は多彩なゲストで楽しい番組ですね。

私たちピアニストは、演奏活動を大体単独で行っています。そんな中で番組MCという機会を頂き、多くの音楽家の方と関わるようになりました。ここでの数々の「出会い」は私の演奏家人生における一生の宝物ですね。出演されるゲストは、現役の学生さんからデビューしたての若い演奏家、長年プロ活動を続けている方で幅広くキャスティングされます。番組放送直後に大きなコンクールで受賞して世界の舞台上で成功された方など、言うまでもなく素晴らしい演奏をされます。私はこの番組で、お一人お一人の「演奏以外の魅力」を引き出したいと思っています。今は音楽家も人々に語りかける時代、言葉でしか伝えられないことも沢山あるはずですね。

金子さんの音楽活動自体も、演奏以外にレクチャーなどを行い金子さんというフィルターを通して理解を深めてもらうようなことを、積極的にこなしていらっしゃいますね。

全ては作曲家へのリスペクトです。私たちクラシックの音楽家は、数100年前から作品を残してくれた偉大な作曲家たちありき。彼らの生き方や考え方の全てに興味を持ち、学び、理解をし、最後は時空と次元を超えて現代に響かせる。その演奏をより多くの方に届ける事で、作曲家たちの魅力も広く伝えられるのです。これは

元を辿ればリストから来る教えであり、今では私のモチーフでもあります。

前は今年の9月に同シリーズの公演がございましたが、何か印象に残っていることはありますか?

最初のリハーサルですね。今でもはっきり覚えています。全てがピタッと合ったのです。

小松長生マエストロ率いるセントラル愛知交響楽団の皆さまと一緒にするのはその時が初めてでしたが、まるで長年共演してきたかのような感覚。一緒に呼吸をし、時間を感じ、まるで同じ周波数で繋がっているかのような不思議なものでした。それが本番でも続き、最後まで楽しく心地良いステージでした。

そして今回のWコンチェルトシリーズはどのような切り口で選曲なさいましたか? リストは、初演が不評だった「皇帝」を演奏して人気曲に押し上げたとも言われています。

ベートーヴェンの「皇帝」は今や世界中から愛される有名曲ですが、これは当時から演奏会で取り上げ、話題を呼んだリストの影響はかなり大きかったはず。今回はそんなリストの、まだあまり知られていないピアノ協奏曲第2番を、ベートーヴェンの力を借りて日本の皆様を紹介したいと考えました。昨年の第1番と違い、とても繊細でロマンティックな出だしから、まるで映画を観ている



かのような世界観へ。そして徐々に盛り上がり、最後は超絶技巧と共にカッコよく終わります。リストならではの熱く素晴らしい作品にどうぞご期待ください!

©Interview&Text / 福村明弘

セントラル愛知交響楽団 団員による室内楽コンサート

いつもはオーケストラ演奏をお聴きいただいているセントラル愛知交響楽団ですが、団員による室内楽公演も行っています。楽器の演奏・音色をより身近に感じて、小編成のアンサンブルをお楽しみください。

島田真千子プロデュース Central Aichi Chamber Players Vol.2



ソロコンサートマスター 島田真千子

ご好評を頂きました第1回目に続き、今回はストラヴィンスキー作曲の「兵士の物語」を上演します。ヴァイオリンを弾く1人の兵士と悪魔が織り成す物語を、セントラル愛知響の奏者による音楽と、我々が誇る常任指揮者・角田鋼亮の語りによってお届けしますこの物語には、「故郷の大切さ、物質的な富の虚しさ、音楽の力」など様々なメッセージが含まれています。『読まれ、演じられ、踊られる』という副題を持つ兵士の物語。角田氏が読み、我々が演奏する曲によって、お客様の心が躍る…そんなステージを目指したいと思っております。公演前半には、いつもオーケストラを支えている低音楽器やパーカッションに光を当てた小さな楽曲を演奏致します。

8/2(水) [開演]19:00 [会場]Halle Runde
■チケット/全自由席¥4,000 U25¥2,000

T-Labo(寺田史人 監修) ～アリエッタ弦楽四重奏団と 木管楽器のアンサンブル



アリエッタ弦楽四重奏団

コンサートマスター 寺田史人

団員による自主的なアンサンブルを通じて室内楽を深めながら様々な試みに挑戦し、オーケストラの演奏に活かすと共にセントラルらしい音楽づくりを高めていくことをめざす室内楽「T-Labo」。今回は新結成のアリエッタ弦楽四重奏団にクラリネット、ファゴットの木管楽器が加わってアンサンブルを繰り広げます。管楽器メンバーを有するオーケストラの特性を生かして、弦楽四重奏に木管楽器が入った音色のパリエーションをお楽しみいただけます。

8/3(木) [開演]14:30
[会場]ダイドロobot館8F
■チケット/入場無料(要申込み)
■申込開始日/7月3日



◎出演/アリエッタ弦楽四重奏団、箱崎由衣(Cl.)、大津敦(Fg.)
◎曲目/ダンツィ:ファゴット四重奏曲 二短調 Op.40 No.2、ブラームス:クラリネット五重奏曲 口短調 Op.115

セントラル愛知交響楽団の活動紹介 岩倉市ジュニアオーケストラの指導

岩倉市では、市が進める「音楽のあるまちづくり」の一環として2001年にジュニアオーケストラを設立しました。20年以上活動を続けており、毎月2、3回の練習と夏休みの強化練習を行って技術を磨いています。その発表の場として、定期演奏会のほか岩倉駅コンサートや市民音楽祭等、地域のイベントに毎年出演しています。セントラル愛知交響楽団はそのジュニア団員の演奏指導を行っています。



岩倉駅コンサート

ジュニアの団員にとっては、普通の音楽教室ではあまり経験できない合奏をプロのオーケストラ団員を講師として毎月経験できるのは大きな魅力です。オーケストラにとっても、地域密着の活動として地方自治体との連携が深まり、ジュニアオーケストラにより長期的に音楽文化が育つことでオーケストラファンが増えることが期待できます。講師の中には各地のジュニアオーケストラ出身者もいるので、ジュニア団員の気持ちを理解した指導ができ、双方にとって効果のある練習につながっています。こうして育ったジュニア団員の中には、その後音楽系の大学に進学したり音楽関係の仕事に就いたりする人もいます。また、セントラル愛知交響楽団のメンバーとなり、プロの演奏者として活躍している人もいます。

とある練習日の様子

月に1回の合奏練習の開始時は、指揮者の先生の指揮棒が下りてもちょっと恐る恐るの音出しでしたが、時間が経過するとともにまとまりある合奏に仕上がっていきます。各パートに付いたセントラルの講師と一緒に演奏すると、引き締まると同時にジュニア団員も安心して自信を持った演奏になり、講師が外れても自分たちでしっかりと演奏を続けていました。



クラス練習(ヴァイオリン)



合奏練習

9月にはジュニアオーケストラの定期演奏会が開催されます。技術も表現も成長したジュニア団員の演奏をぜひお聴きください。

9/3(日)「岩倉市ジュニアオーケストラ定期演奏会」

[開演]14:00 [会場]アデリア総合体育文化センター 多目的ホール [料金]¥500

- ◎指揮/高井優希
- ◎曲目/モーツァルト:交響曲 第41番「ジュピター」、メンデルスゾーン:「夏の夜の夢」より抜粋 他
- ◎問合せ/岩倉市生涯学習課 TEL.0587-38-5819

マシュー山本教授の クラシックこぼれ話

今回はピアノの魔術師と呼ばれているフランツ・リストについてお話ししたいと思います。リストは高身長イケメンでピアノがすこぶる上手いという事で、熱狂的な女性ファンが多くいました。(羨ましい〜!)によって、多くの女性と恋愛関係にあったとされています。以下に、彼の女性遍歴をいくつか紹介しましょう。

1. マリー・ダグーはリストがパリにいた時期に出会った女性で、長期にわたって彼の恋人でした。しかし、彼女は後に別の人と結婚し、リス

トは彼女を忘れることができなかったと言われています。

2. カロリーネ・シェーファーはリストの最初の妻で、彼との間に3人の娘をもうけました。しかし、結婚生活は幸福ではなく、後に離婚しました。

3. マリー・コシツカは、リストが後半生を過ごしたベルリンで出会った女性で、彼の最後の恋人とされています。彼女はリストが死去した後、彼の未発表の楽曲を出版し、リストの音楽の普及に貢献しました。

その他にも、リストは数多くの女性との恋愛を通じて音楽的なインスピレーションを受け、自身の音楽の創作に影響を与えたとされています。ついでに熱狂的なファンが起こしたエピソードも少し。“演奏終了後リストに近づき激しく抱擁し接吻をする。”“ホテルの部屋に忍び込み、リストが吸ったタバコの吸殻を持ち帰る。”などの怖い話も。これほどの熱狂的な女性ファンは羨ましくないです。

オーケストラ

Q&A

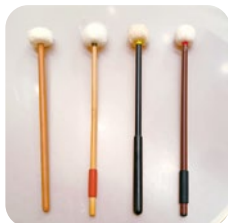


Q1 オーケストラが演奏前にチューニングを行います、それは何のために、どのようにして行うのですか？

A 楽屋や舞台裏で各々音合わせ等をしていても、舞台に出た際の温度や湿度などの環境の変化で音程が狂ったり楽器の状態が微妙に変わることがあります。チューニングの目的は、舞台上で最終的に基準の音を共有し、短い時間の中でコンディションの確認や調整を行うためです。それに付随して、いよいよ開演だという期待感を高める儀式的な側面や、演奏前に心を一にする精神的な意味もあるように思います。チューニングは、コンサートマスターの合図によって、オーボエ奏者の出すA(ラの音)を基準として全員で合わせます。オーボエの音を用いる理由としては、他の楽器に比べて安定していて、管の抜き差しによって音程を変えることができないという特性があるからです。音が良く通る上にオーケストラの真ん中に座っていますね。ちなみに、諸説ありますが古代ギリシャの低音弦楽器の一番低い弦の調弦がA音(文字通り一番目というA)だったことが始まりと言われています。日本ではほとんどのオーケストラが現在442Hzの高さのAを採用しています。(コンサートマスター・ヴァイオリン / 寺田史人)

Q2 ステージでティンパニ奏者が多く(何種類かの)のマレット(バチ?)をそろえているのはなぜですか？

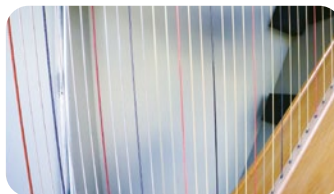
A 先ず初めにマレットの種類についてお話しします。シャフト部分(写真参照)の素材は主に木製、竹製、アルミ製、カーボン製、頭部は木やコルクが剥き出しのもの、木やコルクなどにフェルトが巻かれた物、フランネルや革が巻かれた物など様々です。それらのマレットを選択する際、基本、奏者に委ねられます。作曲家やその時代、使用する楽器との相性、編成、ホールとの相性、また演奏する楽曲の中でも場面ごとの音楽(演奏)表現により使い分けています。例えば…コントラバスのpizz.との相性、輪郭があまり見えない空気の中に溶け込む北欧の香りがする遠くで鳴る冷たいトレモロ、勝利を運ぶ金管楽器と共にどっしりとした色の濃い刻みなど…硬さだけではなくそこに必要な音を常にイメージして曲中には使い分けています。(もちろん奏法を使い分けた上で更に上の表現をする為に使い分けます。)時には指揮者に指示されることも有りますので様々なマレットを所有する必要があります。中には曲中にここは頭部が木のマレットに変えて欲しいなど…マレット指示を楽譜に記す作曲家もいます。(ベルリオーズ、マーラー、ストラヴィンスキー、バーンスタインなど)
(ティンパニ / 片山陽平)



※左から、木・竹・アルミ・カーボン

Q3 客席からハープを見ると、たくさんの弦の中に赤や青など色のついた弦が張ってあるように見えますが、それはどんな意味や役割があるのですか？

A ハープの弦の本数は47本あります。多くのハープにはわかりやすいように色のついた弦があります。C(ド)の弦が赤で、F(ファ)の弦が黒か青です。白(または無色)の弦ばかりだと演奏する時に弦の区別ができないため、奏者は色がついたC(ド)とF(ファ)の弦を目印にして演奏します。ハープの弦は47本ですが88鍵あるピアノとほぼ同じ音域を演奏できます。それは足元に7つのペダルがあり、各ペダルの3段階の踏み込み方で弦の張力を変えて、1本の弦に対して#・bの音程を調整できるからです。優雅な音色を奏でるハープですが、ハープ奏者は客席からは見えない足元で、足を左右に動かして7つのペダルを踏み変えていて、実はとても大変な操作をしているのです。こんなことを知るとハープ奏者を尊敬するばかりで、美しいハープの音色がいっそう心に響きますね。(事務局)



「オーケストラQ&A」の質問募集

セントラル愛知交響楽団ホームページ内の「rara-ca」ページにある質問フォームから、オーケストラについて疑問に思っていること、聞いてみたいことなどお送りください。
<http://www.caso.jp/faq-form/>



今後発売予定の「セントラル愛知交響楽団」公演情報

9/29 金 Wコンチェルト2023 金子三勇士 Vol.2	[会場]愛知県芸術劇場コンサートホール [開演]18:45 [料金]S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 U25¥1,000	6/28[水]一般発売
10/20 金 超!有名曲シリーズ Vol.5「北欧」	[会場]愛知県芸術劇場コンサートホール [開演]18:45 [料金]S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 U25¥1,000	7/12[水]一般発売
11/10 金 第200回定期演奏会 ~祝典~	[会場]三井住友海上しらかわホール [開演]18:45 [料金]プラチナ¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 U25¥1,000	8/23[水]一般発売
11/11 土 金城学院大学・セントラル愛知交響楽団 ガラコンサート 2023	[会場]三井住友海上しらかわホール [開演]15:00 [料金]正面席(1・2階)¥2,800 サイドバルコニー(2階)¥2,000	8/2[水]一般発売
12/8 金 ハイドンのロンドン精神 Vol.4	[会場]電気文化会館 ザ・コンサートホール [開演]18:45 [料金]一般¥4,000 U25¥1,000	9/13[水]一般発売
12/22 金 40周年記念特別演奏会「第九」	[会場]愛知県芸術劇場コンサートホール [開演]18:45 [料金]S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 U25:各席(S~C)半額	9/13[水]一般発売

賛助会員・リスナー会員になると、チケットの優先予約・会員割引の優待が受けられます。

会員申し込みはコチラから▶



「rara-ca」はインターネットでご覧いただけます。

セントラル愛知交響楽団のホームページ内に「rara-ca」のページを作成しました。パソコンやスマホで、今回の最新号だけでなくバックナンバーも、いつでもどこでもご覧いただけます。ご利用ください。
<http://www.caso.jp/rara-ca/>



創立40周年 記念寄付募集のご案内

セントラル愛知交響楽団創立40周年を迎えた2023年、創造的な活動による音楽文化振興を推し進め、地域に根差し愛されるオーケストラとして更なる飛躍を遂げるために、皆様からのご寄付を募集しております。

[創立40周年記念寄付募集ホームページ]
<http://www.caso.jp/support40th/>



チケットシステムご利用のご案内

各公演のチケットはホームページのチケットシステムでご購入いただけます。スマホやパソコンから24時間いつでも、自分で座席を指定してチケットを購入することができます。ぜひご利用ください。

[チケットシステム] ※定期メンテナンス中はサービスを一時停止します。
<https://yyk1.karuku.com/caso-s/showList?lf=0>
◎購入可能なチケットは、チケットシステムの「公演一覧」にてご確認ください。

